

みなみ 園だより 10月

令和8年10月1日

目黒区立南保育園園長

昨年は猛暑に悩まされましたが、今年は厳しい暑さというよりも毎日振り続ける雨に日差しが恋しくなる日々が続いています。運動会に向けて取り組んでいる中で、子どもたちのやりたい、できるようになりたいと思う意欲が天候に左右され途切れないように、室内でも身体を動かせるように保育を工夫し、継続して運動遊びができるようにしてきました。外は雨でも子どもたちの元気な声で保育園中にぎやかです。今月は原町小学校の体育館をお借りして運動会が開催されます。自分たちが日頃から好きなものになりきって身体を動かすことを楽しんだり、自分一人でやるよりも、友達と一緒に力を合わせるとこんなこともできるんだという新たな発見をし、気持ちにも成長を感じます。5歳児は保育園で一番大きい憧れていたとんぼぐみとなり、一人ひとりが目標に向かってそれぞれの頑張り方やタイミングで憧れていた姿に近づき、大きな自信を得ています。運動会当日はたくさんのあたたかいエールをお願いいたします。

下旬には4・5歳児が芋ほり遠足へ行き、掘ってきた芋で焼き芋にしてみんなで食べます。「秋の味覚」を存分に満喫しながら、秋晴れを期待し元気な身体で過ごしたいと思います。

行事日程

運動会 ※原町小学校
幼児お楽しみ会
芋掘り遠足(4, 5歳児)
煙体験(3, 4, 5歳児)
焼き芋会
身体計測、避難訓練、秋の検診(全園児)

子どものつぶやき

折り紙でめんこを作った後、
「せんせいはできる？
めんたいこ」

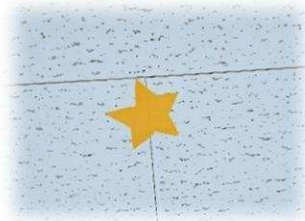
避難訓練の様子

9月2日は防災の日付近の訓練ということもあり、大規模災害を想定した引き渡し訓練を行いました。ご協力ありがとうございました。

日頃から災害に備えて月に1～2回避難訓練を行っています。落下物を避ける安全な場所の目印として、各保育室の天井には子どもたちでもわかるように大きな星マークを貼って表示しています。幼児クラスの子どもたちは、避難訓練の放送が聞こえると静かになり、保育士を見ながら星マークを意識して集まってきたり、地震時、頭を自分の腕で覆い、ダンゴムシのように体を丸めて身を守る体勢になったり、防災への意識も高まっていると感じています。

ある日の2歳児クラスでは、誰かが「地震です」と言うとそれを聞いた子が「(天井に張られた星のところに)集まるよ」と言いしゃがみます。保育士役になった子はボウルをヘルメット代わりにかぶり、子ども役の子に「これ、かぶって」と防災頭巾に見立てた人形の布団を渡し経験したことを再現しています。子どもたちのごっこ遊びの姿から日々の避難訓練の動きが身についていることが伝わってきました。

起きては欲しくない災害ではありますが、いざというときに慌てずに行動できるように備えていきたいと思います。



今月は乳児クラスの運動遊びの様子を紹介します。

0歳児 ありんこ組

部屋の扉が開くとどこかへ行くことがだんだんと分かるようになり、歩いたりハイハイしたりして勢いよく廊下へと進んでいきます。高いマットの山や、三角滑り台の階段や斜面などを見つけると、腕で自分の体を支え、足指にも力を入れて上ったり、よじ登ったりして体全体を使いながら遊びを楽しむ姿が増え成長を感じます。子どもたちが自分から遊んでみようとする気持ちを大切に、出来たことを喜ぶ姿に共感しながら関わっていききたいと思います。



1歳児 てんとうむし組

夏前からホールを利用してリズム遊びを楽しんでいます。ホールに行き、保育士がピアノを弾き始めるとすぐに立ち上がり両手をあげてウサギジャンプをしています。友達と向かい合い笑顔で動いています。キリンの曲が流れると両手を伸ばしキリンになりきって歩いています。1番のお気に入り曲は汽車です。ピアノの音に合わせて歩きますが、音が早くなるにつれてだんだんとスピードをあげて走ることが楽しく嬉しそうです。駅に到着するとうつぶせになり両手を伸ばして体を動かさず止まります。そんな動きの違いが子どもたちにとって魅力的なのだと思います。今後は他クラスとも一緒にリズム遊びの計画を立てていきたいと思っています。



2歳児 みつばち組

体を動かすことが好きな子どもたちは、室内でも巧技台や肋木のよじ登り、ビーム渡りなどをして運動遊びを楽しんでいます。1歳児クラスのときに50センチの巧技台を登れるようになりましたが、今では60センチの高さを「登れるようになりたい！」という思いで挑戦しています。どうやったらできるのかを考え、足を乗せる場所や手をかける場所など「こうしたらできるかな」と試行錯誤しながら自分なりの登り方を見つけていました。一度できると「見ててね」と自信満々な表情でやって見せてくれます。

できたことを共に喜び、できるようになりたいという思いを大切にしながら関わっていききたいと思います。

